

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

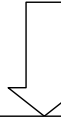
<b>事業名</b>	外国教育施設日本語指導教員派遣事業		<b>担当部局庁</b>	初等中等教育局		<b>作成責任者</b>	国際教育課長 中井 一浩	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成2年度～		<b>担当課室</b>	国際教育課				
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	II-1 確かな学力の育成				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	—		<b>関係する計画、通知等</b>	教育振興基本計画(平成20年7月1日閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	海外における日本語教育に対する協力要請に応え、現職教員を外国の中等教育施設へ派遣し、日本語教育に従事させるとともに、教育・文化交流活動を通じて教員の指導能力の向上及び国際性の涵養を図ることにより、我が国の学校教育の国際化及び地方公共団体による地域レベルの国際交流の促進に資する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	外国教育施設への派遣内定者に対し、日本語学、日本語教授法、日本文化、異文化コミュニケーション、現地語等に関する約4か月の事前研修を国立大学等に委託し、実施するとともに、研修修了者を派遣教員として外国教育施設へ派遣する。							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	18	9	9.1	8	8.3	
	執行額	17	6	8.6				
	執行率(%)	94.4%	66.0%	94.3%				
<b>成果目標及び成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	事前研修受講者(派遣内定者)のうち、研修を修了した者の割合		成果実績	%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%(毎年度)
			達成度	%	100.0%	100.0%	100.0%	
<b>活動指標及び活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	派遣教員数		活動実績(当初見込み)	人	9	5	8 (10)	— (10)
<b>単位当たりコスト</b>	623,732(円/人)		算出根拠	22年度実績額(初等中等教育等振興事業委託費)/派遣教員数[4,989,857円/8人]				
平成23・24年度予算内訳	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金、庁費	0.1百万円	0.1百万円					
	職員旅費、委員等旅費	3.0百万円	3.0百万円					
	初等中等教育等振興事業委託費	4.8百万円	5.2百万円					
	計	7.9百万円	8.3百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成23年度予算については、前年の執行状況を踏まえ、見直しを行った。          なお、事業(研修)の実施にあたり必要な事務費については、効率化を図るよう、引き続き事業者に対して促す。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>1. 事業評価の観点: この事業は、現職教員の外国教育施設へ派遣決定者に対し、日本語、日本語教授法、日本文化、異文化コミュニケーション、現地語等に関する事前研修(約4ヶ月)を平成2年度から実施している事業であり、長期継続事業及び予算執行の観点から検証を行った。          2. 所見: この事業は、平成2年度以降長期に継続している事業であるが、我が国の学校教育の国際化及び地方公共団体による地域レベルの国際交流の促進に資する必要があることから、今後も実施する必要がある。しかしながら、これまでの事業の成果の検証を行い、事業の効果的・効率的な実施を目指し、コスト縮減等に努めるべきである。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
平成24年度概算要求においては、実績を踏まえ、委託費の積算を見直しを図り、概算要求では▲1.017百万円を反映した。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

文部科学省  
8.6百万円

諸謝金・庁費：0.2百万円  
職員旅費・  
委員等旅費：3.4百万円 } を含む

海外における日本語教育に対する協力要請  
に応え、現職教員を外国の中等教育施設へ  
派遣する。そのため、派遣候補者の選考、派  
遣前の事前研修実施機関の公募・選定等を行  
う。



【公募・委託】

A. 外国教育施設日本語指導教員派  
遣事業(REXプログラム)事前研修：  
5.0百万円

東京外国語大学

派遣内定者に対する事前研修を実施。

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位：百万円)



支出先上位10者リスト

A.外国教育施設日本語指導教員派遣事業(REXプログラム)事前研修

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京外国語大学	派遣内定者に対する事前研修の実施	5	企画競争	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					